

文学作品を前にして、感想から解釈へ、感動から批評へと、いかにして飛躍するか。『批評理論を学ぶ人のために』（2023）の執筆に関わった4人の著者が、文学批評の現在地と展望について語る

シンポジウム

文学批評——その理論と展望

第Ⅰ部 15:00-16:15

- 司会者（小倉）による趣旨説明とパネリストの紹介
- 小平麻衣子（慶應義塾大学・日本文学）：「フェミニズム/ジェンダー批評の希望と困難」
- 巽孝之（慶應義塾大学・アメリカ文学）：「精読と伝記——ジョン・ブライアント”THE FLUID TEXT”理論の後に」

（休憩）

第Ⅱ部 16:30-17:30

- 川島建太郎（慶應義塾大学・ドイツ文学）：「法と文学——コルネリア・フィスマンの理論を手がかりに」
- 小倉孝誠（慶應義塾大学・フランス文学）：「文学と社会の関係をどのように問うか」

第Ⅲ部 17:30-18:00

- 全体討論

日時：2023年7月7日（金）、15:00-18:00

場所：慶應義塾大学 三田キャンパス 北館1階 北館ホール

（対面開催、入場無料、予約不要）

主催：慶應義塾大学文学部 国文学専攻、英米文学専攻、独文学専攻、仏文学専攻

共催：慶應義塾大学藝文学会

問い合わせ：小倉孝誠 E-mail : ogura@flet.keio.ac.jp